



せんだん

学校教育目標

「進んで学び、心やさしく、たくましい児童の育成」

No. 5 令和5年6月5日 校長 松本 成浩

「気付く」ためには知識が必要。それが勉強する一つの意味では…

日常生活の中で「おかしいな」、「変だな」、「これではいけないぞ」と気付く場面があると思いますが、それにはその人が持っている知識が大きく関係していると思います。目の前にある事象に対し、おかしいと判断できるだけの知識を持ち合わせている人とそうでない人では、気づき方に違いが出てきます。そしてその結果、行動の仕方にも影響が出てきます。知識があるからこそ、おかしい、正そうという気持ちになれるのです。全校朝会では、勉強する一つの意味がそこにあるということをお話したところです。話の最後にみんなに見せた写真が右の写真です。何か気付かれることはないですか？（ドアの開けっ放しがダメ、というのも答えですが、その他には？）



梅雨の時期には、読書もいいですね！

今年、例年より早く梅雨入りしたとのニュースが流れていました。外で元気に遊び回るのが好きな二里小の子供たちにとっては、少しフラストレーションが溜まる状況かとも思いますが、天気のことには仕方がないので、発想を変えて静かに読書を楽しんでみてはどうでしょうか。図書室では、司書の先生と図書委員会の子供たちであじさい図書祭りも行ってもらっています。読書と言えば秋のイメージですが、静かに室内で過ごさなければいけない時間の長さだけを考えれば、この時期の読書は、いつもは読まないような長めの本もじっくり読めるのではないかと思います。新しい本も少しずつ増えています。読書は苦手だという人も、まずは本を手にとるところからでいいので、図書室へ行こう！！

今年、例年より早く梅雨入りしたとのニュースが流れていました。外で元気に遊び回



プールがピカピカになりました！！

今年も暑い時期を迎え、体育の学習では水泳の授業が始まります。先日、5、6年生がプール掃除を行ってくれました。プールは広い上に壁面などの汚れの他、落ち葉や砂などがけっこう入っており、手間取ることが多く一苦労でしたが、皆で協力しながらきれいにしてくれました。心配した天気も持ち、逆に蒸し暑くて大変だったと思いますが、頑張ってくれました。他の学年の子も、分担してプール周りの掃除や草取りなどをやってくれています。お陰で、今年も全校のみんなが気持ちよく水泳の授業に臨めます。

